

説明文書

子宮内膜間質腫瘍で治療を受けている方へのお知らせ

新潟県立がんセンター婦人科では、子宮内膜間質腫瘍の悪性度の判定を遺伝子検査で行う研究を行っています。

研究の概要

子宮間質肉腫は、低悪性度、高悪性度、未分化型に分類されますが、高悪性度の判定は病理組織学的には難しいとされています。近年、低悪性度ではJAZF1-SUZ12融合遺伝子、高悪性度ではYWHAE-FAM22融合遺伝子を認めることが明らかになっています。これらの遺伝子をPCRで検討する方法で低悪性度と高悪性度の腫瘍の違いを見極める研究を行います。

研究で使用させていただくものは、手術または生検で採取された腫瘍です。

研究実施期間：2015年4月21日 ～ 西暦2031年3月31日

お名前・生年月日・住所などの個人情報に関わるデータは一切使用いたしませんので、対象者個人が特定されるような情報は一切公表されません。

- この研究に協力するために試料提供に同意するかどうかは 全くの自由意思です。
- 協力されてもされなくても、不利益を受けることは 一切ありません。
- 試料の提供に同意できない方は、いつでも主治医にお申し出ください。

*この研究は新潟県立がんセンターの倫理委員会の承認を得ております。

*研究の責任者は、病理部長 川崎 隆、婦人科部長 菊池 朗（連絡先：新潟市中央区川岸町2丁目15番地3 新潟県立がんセンター病理部、婦人科、TEL：025-266-5111）です。